

GPA 制度（学修評価）の導入について

2016 年度入学生から、学生の主体的な学修を推進するために GPA 制度を導入します。
このことにより、学生が、将来を見据えた学修計画を立て、それに基づいて授業に積極的に参加し、学力の向上に努めるとともに、授業前・授業後にも十分に学修や研究に臨めるよう無理のない適切な履修計画を立て、確かな知識、技能、学力を身につけることを期待します。

I GPA とは

1. GPA とは Grade Point Average（グレード・ポイント・アベレージ）の略で、履修登録した科目の成績を平均値化したものである。この GPA は学修の量ではなく質を評価するものであり学修成果、到達度を客観的・相対的に見ることができる。
2. 履修登録した全科目が GPA 対象科目となる。
3. 他大学から編入学または転入学した際の単位認定科目は GPA 対象科目とはしない。
4. 成績評価（秀、優、良、可、不可）を成績値（グレード・ポイント、以下 GP と表記）に換算して GPA（成績平均値）を算出する。

II GP の基準

1. 表で示したように、各科目の得点を 5 段階（4, 3, 2, 1, 0）の GP に換算する。履修放棄あるいは受験しなかった科目の GP は 0 となる。
2. 再履修して合格となった場合、過去の不合格履歴は累積され GPA の算出対象となる。
3. 再試験を受験した科目は、その評価を GP に換算する。

評 点	評 価	グレードポイント (GP)	合 否
100 - 90 点	秀	4	合 格
89 - 80 点	優	3	
79 - 70 点	良	2	
69 - 60 点	可	1	
59 - 0 点	不可	0	不 合 格
未受験・履修放棄	*	0	—

Ⅲ GPAの算出方法

1. 各科目の成績評価（得点）に対応する GP に科目の単位数を掛けた数の総和を、履修登録した科目の単位数の総和で割ったものが GPA である。
2. GPA は履修登録した全ての科目が対象となるので、不可や履修放棄が多い場合は GPA が低くなる。そのため履修辞退する場合は、所定の期日までに忘れずに手続きを行うこと。
3. GPA の計算方法は以下のとおりである。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{科目の GP} \times \text{単位数}) \text{ の総和}}{\text{科目の単位数の総和}}$$

具体例

各成績の単位の合計（例）	計算式 (GP × 単位数)	各成績のポイント
「秀」の単位の合計 10 単位	4 ポイント × 10 単位	40
「優」の単位の合計 20 単位	3 ポイント × 20 単位	60
「良」の単位の合計 8 単位	2 ポイント × 8 単位	16
「可」の単位の合計 6 単位	1 ポイント × 6 単位	6
「不可」の単位の合計 4 単位	0 ポイント × 4 単位	0
未受験・履修放棄の単位の合計 3 単位	0 ポイント × 3 単位	0
科目の単位数の総和 51 単位	総和 122 ポイント	
$\text{GPA} = 122 \div 51 = 2.392156\cdots \approx 2.39 \text{ (四捨五入する)}$ 全科目が秀であれば GPA は 4 となる（最高得点）		

Ⅳ 本学 GPA 制度のポイント

1. 本学では、1 年次からの GP の累積により算出する。
2. 再履修をして合格となった場合、過去の不合格履歴は GPA に反映される。
3. GPA の値は、小数点第 2 位まで（小数点以下第 3 位は四捨五入）算出する。
4. GPA は成績通知書（成績原簿）に記載される。
5. GPA は学修指導の指標として用いられる場合がある。